

2021年度(令和3年度)に使用する福山市立中学校用教科用図書の採択結果

種 目	発行者名	教科書名	採 択 理 由
国語	光村図書出版	国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、「学習の見通しをもとう」として、領域ごとに教材、知識・技能、思考・判断・表現力の一覧を示している。単元の扉に、単元名と単元の目標を示している。教材の冒頭頁と終わりの「学習」に目標を示している。 ○ 第2学年「根拠の適切さを考えて書こう」では、冒頭頁から活動の流れを5段階で設定し、意見文の例を示している。 ○ 伝統的な言語文化に関する内容は、全学年で計5単元。第1学年で「古典としぐさの伝統芸能」として「落語」を、第2・3学年で「古典芸能の世界」として「能・狂言」「歌舞伎、浄瑠璃」を掲載している。 ○ 巻末の「学習を広げる」では、「学習の窓」一覧等その他、国語から他教科等に広げて活用できる資料を示している。 ○ 「話すこと・聞くこと」の領域では、第1学年で、「グループディスカッション」の活動を取り上げている。
書写	光村図書出版	中学書写 一・二・三年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習のはじめに」として、「書くときの姿勢」「用具の準備」「筆記具の持ち方」「用具の片付け」等を写真で示している。 ○ 「学習の進め方」では、「①考えよう」「②確かめよう」「③生かそう」で、基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習場面における学び方を写真等で示している。 ○ 第1・2学年の「コラム」では、第1学年「文字の歴史を探る」第2学年「物語を千年書き継ぐ」を設定している。第3学年では、発展として「なりきり、書聖・王羲之」を設定し、文字の歴史を示している。 ○ 「②確かめよう」では、朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、写真と言葉で筆使いを示している。巻頭の「さあ、書こう」及び裏表紙にある二次元コードから、コンテンツにアクセスでき、該当する箇所に二次元コードを示している。 ○ 全学年に、書写学習を学校生活や日常生活に生かす活動を設定している。第1学年では学級スローガン等の「目標を書く」活動、第2学年では本の帯を書く活動、第3学年では「冊子にまとめよう」の活動を設定している。

<p>社会 地理的 分野</p>	<p>東京書籍</p>	<p>新しい社会 地理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル右のコーナーに「どのように～でしょうか」「どのような～でしょうか」等の問いかけの表現で、1時間の学習課題を示している。 ○ 「日本の諸地域」では、初めの頁で、写真や「小学校の社会で習ったことば」等を掲載し、各節の初めに「探究課題」を示している。 ○ 「自然災害と防災・減災への取り組み」として、様々な自然災害や被災地への支援、防災対策と防災意識等を見開きで掲載している。特設頁では、地震の原因や津波が起こる仕組み、命を守る取り組み等について見開きで掲載している。 ○ 円・帯グラフは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。頁隅の色分けで、学習内容を示している。 ○ 「世界の諸地域」では、「まとめの活動 みんなでチャレンジ」として、各地域の特色をグループで話し合い、図や表にまとめる、クラスで意見交換やディスカッションをする活動を設定している。
<p>社会 歴史的 分野</p>	<p>山川出版社</p>	<p>中学歴史 日本と世界</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ タイトルを「鎌倉幕府の成立と執権政治」等の項目で示し、タイトルの下に「どのような」「どのように」等の問いかけの形態で、1時間の追究する課題を示している。 ○ 見開きで、これから学習する内容を日本史と世界史の年代を上下に分けて年表で示している。主な歴史的事象の写真や絵図を掲載している。 ○ 近代では、「市民革命の時代」のタイトルで4頁にわたり、民主主義の来歴や人権思想の広がりを記載し、「独立宣言」等の資料を掲載している。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。 ○ 近世の振り返りでは、「世界はどのようにして一体化へと向かっていったのだろうか」「近世の政治と社会は、どのような仕組みを持っていただろう」「近世の日本は、世界とどのようにつながっていただろう」等の5つの問いを設定し、近世のまとめを示している。

<p>社会 公民的 分野</p>	<p>東京書籍</p>	<p>新しい社会 公民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動での体育館使用についての対立の例を示し、「2年前の学校でのトラブルについて考えよう」等の課題を、絵図で示している。 ○ 「より良い社会を目指して」では、持続可能な社会を実現するために自分にできることを提案する活動を設定し、「五つのテーマの中から、解決すべき課題を設定しよう」「資料を集め、探究しよう」等、3つの手順を示している。 ○ 「S市の市長になって条例を作ろう」として、「あなたが考える理想のまちを、右ページのステップチャートの、『理想のまち』の欄に記入しましょう」「下のS市の課題1から4を見て、市民の声も参考にしながら、あなたが解決したい課題を一つ選び、『課題』の欄に記入しましょう」等を示している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。頁隅の色分けで学習内容を示している。 ○ 「私たちと経済」では、「コンビニエンスストアのお弁当を企画しよう」として、ウェビングを活用する、グループで意見交換する等の活動を設定している。
<p>地図</p>	<p>帝国書院</p>	<p>中学校社会科 地図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、「この地図帳の凡例」として、地図記号を掲載している。「この地図帳の使い方(1)」では、オーストラリアを例に、地図の見方や構成、使い方を、「この地図帳の使い方(2)」では、大分県を例に、色の意味や記号の意味等について解説している。 ○ 地図活用の技能を身に付ける「地図活用」を設定し、地図の読図や比較を通して、わかることを整理したり、説明したりする問いを示している。別頁にある関連性の深い内容を示したマークを掲載している。 ○ 本体サイズは、A4版としている。配列及び頁数は、使い方・資料15頁、世界の諸地域58頁、日本の諸地域68頁、日本の資料20頁、統計9頁、索引12頁、巻頭・巻末6頁、総頁数188頁である。使い方・資料、世界、日本、統計、さくいんで分類し、インデックスで色分けしている。 ○ 縮尺については、世界の広域地図・大陸地図を350万分の1～9000万分の1で示している。日本全体の地図を400万分の1と1600万分の1で示している。 ○ 地図を活用した表現として、「学習課題」や「地図活用」のコーナーを設定し、地図からわかることを整理したり、説明したりできるように視点を示している。

<p>数学</p>	<p>東京書籍</p>	<p>新しい数学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節末に「基本の問題」、巻末に「補充の問題」を設定し、解けない問題について、本文の「例」や「問」に戻るよう関連ページを示している。 ○ 第1学年「1次方程式の利用」の導入では、合唱コンクールの題材を設定し、自分の求め方を説明したり、友だちの考えを比べたりし、問題を解く手順を示している。「深い学びのページ」では、問題解決の過程を示している。 ○ 全学年1冊構成である。全学年巻末では、思考力・判断力・表現力等を高める「大切にしたい見方・考え方」や「数学の自由研究」、知識・技能を身につける「補充の問題」を設定している。 ○ 第3学年「関数 $y = ax^2$」では、ジェットコースター等のイラスト18点、花火等の写真9点を掲載している。学年全体で、デジタルコンテンツを11か所掲載している。 ○ 第2学年「データの比較」では、スナック菓子等の「花見期間」の平日と休日の販売数を表す箱ひげ図等から、仕入れを増やすならどの商品かを説明する等の学習を位置付けている。
<p>理科</p>	<p>新興出版社 啓林館</p>	<p>未来へひろがるサイエンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年の単元の導入に、「～について探究していこう」等の表現で目標を示すとともに、学習を振り返り、自己評価するための「学ぶ前にトライ!」「学んだ後にリトライ!」を掲載している。 ○ 全学年の巻頭または巻末に、探究の過程の流れを示している。各単元の1か所に「探Q実験」を設定し、巻末に添付した「探Qシート」を活用した学習活動を示している。 ○ 補充的な観察・実験として「ためしてみよう」「探Qクラブ」等を、発展的な学習として「発展」を設定している。ものづくりの数は16である。 ○ 全学年の巻頭に、学習に関する写真や探究過程の説明を掲載している。巻末には、「探究もフェアプレイで」や「理科でよく使う算数・数学」等を掲載し、探究する過程での心構えや、算数・数学の基本事項について示している。 ○ 全学年の観察・実験後に、「わたしのレポート」を掲載するとともに、自分でレポートにまとめる際のポイントを示している。第1・2学年の巻末に、「理科における話し合いと発表」として、対話の方法の例を示している。

<p>音楽 一般</p>	<p>教育芸術社</p>	<p>中学生の音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 創作は、「My Melody」「Let's Create!」として、各学年2つの活動を取り上げている。 ○ 音や音楽と生活との関わりについては、全学年「題材」や「特集」,「巻頭口絵」で取り上げている。第1学年では「音や音楽の果たす役割」,第2・3学年上では「受け継ごう!郷土の祭りや芸能」,第2・3学年下では「生活や社会の中の音楽 仕事と音楽」等、各学年4～7つを掲載している。 ○ 我が国の音楽に関する内容は、鑑賞教材,歌唱教材をそれぞれ、第1学年4,5曲,第2・3学年上3,5曲,第2・3学年下5,4曲配列している。 ○ 全学年,目次に続く「学習内容」に,教材名とともに音楽を形づくっている要素を示している。また,資料「音楽を形づくっている要素」のページに,要素の内容を掲載している。 ○ 2・3年下の鑑賞「ボレロ」では,キャラクターの吹き出しで鑑賞の視点を示している。音楽を聴いて気づいたことや感じ取ったこと等の様々な意見を共有する場面の設定として,「この曲のどのようなところによさを感じたか,紹介文を書いてみましょう。」と示している。
<p>音楽 器楽合奏</p>	<p>教育芸術社</p>	<p>中学生の器楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 和楽器については,箏・三味線・太鼓・篠笛・尺八の順で示し,各楽器の各部の名称,姿勢と構え方,奏法等を写真や図で示している。「資料」では,「日本音楽の楽器編成」「楽しもう!和楽器の音楽」を掲載している。 ○ 箏の学習では,「My Melody」として都節音階と律音階のどちらかを選んで旋律をつくる活動を設定している。活動の手順を示すとともに,キャラクターの吹き出しで,基礎的な奏法の活用を促している。 ○ アンサンブルセミナー,リコーダー,ギター,箏,三味線,太鼓,篠笛,尺八,打楽器,アンサンブル,楽器でメロディーの順で構成している。 ○ 「アンサンブルセミナー」のページでは,見開き左ページ下に,学習内容に即した音楽を形づくっている要素を示している。「アンサンブル」のページでは,曲名の横に「主旋律(A1)に対して,A2の旋律がどのように重なっているのかを考え,その効果を味わいながら演奏しましょう。」等と音楽を形づくっている要素を示している。また,『六段の調』から“四段”では,箏の唱歌の説明とともに,歌うときのポイントを示している。 ○ 「全体の響きを確かめながら演奏しよう」では,教材曲「千の風になって」で,「パートの役割に合った楽器を選び,曲にふさわしい表現を工夫して演奏しましょう。」と活動文を示し,「選んだ楽器で実際に演奏し,全体の響きを確かめましょう。」等と表したい思いや意図を言葉で伝え合う場面を設定し,キャラクターの発言例とともに示している。

美術	光村図書出版	美術	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現や鑑賞の活動のはじめに〔共通事項〕を視点とした活動を促す文章を掲載したり，作者の言葉で表現意図を示したりしている。 ○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに，生徒の活動の様子を学習活動の過程に分けて写真で示し，興味・関心を高めている。作品を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し，作品の一部や全体を拡大したり，原寸大の図版で示したりしている。また，和紙のような風合の紙への印刷や，トレーシングペーパーの使用等で実感を伴って理解できるようにしている。 ○ 題材を「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学習を支える資料」の分野等に分けて配列している。題材数は第1学年 17，第2・3学年 22 である。題材の内容に応じて，関連する題材をまとめて提示している。 ○ 社会の中で使われるシンボルマークを示している。発想や構想を練るためのアイデアスケッチを複数示している。題材に関連する生徒作品等を作者の言葉及び表現意図とともに示している。 ○ 生徒作品・企画書等により，発想・構想の方法を示している。鑑賞では，作家や生徒の作品を掲載するとともに，表現意図や作者の言葉を示している。音声ガイドで作品解説を聞く活動や，鑑賞を深めるための視点，「それぞれの共通点や違いを話し合おう」等の記述で対話を促している。
保健体育	学研教育みらい	中学保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章の初めに，学習の目標や系統性等を示すとともに，「保健体育と情報」として，身の回りの事象や情報と健康との関わりを掲載している。各小単元では，「学習の目標」として，「理解しよう」等の表現で学習課題を示している。 ○ 「課題をつかむ」では，課題を見つける活動を，「考える・調べる」では，考えたり，調べたり，話し合ったりする活動を，「まとめる・深める」では，学習したことを深める活動を示している。第2学年「傷害の防止」では，「胸骨圧迫」等の実習を6例掲載している。 ○ 発展的な内容として，「発展」マークを付して示し，本編と関連させ，第1学年4，第2学年10，第3学年4の計18の資料を掲載している。 ○ 巻頭の口絵では，「スポーツで世界を一つに」「いつでも話せる相手があります」等の資料を掲載している。学習内容に関連したミニ知識を表す「情報サプリ」等のマークを用いている。 ○ 第2学年「傷害の原因と防止」では，危険を回避する手立てについて，「帰りが遅くなったある日，いつもと違う街灯のない近道を通ろうとしています。」等の場面をもとに考え，話し合う活動を設定している。

<p>技術・家庭 技術分野</p>	<p>東京書籍</p>	<p>新しい技術・ 家庭 技術分野 未来を創る Technology</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識及び技能のポイントとして「ポイント」を、「テックラボ」として工程ごとの基礎的・基本的な技能を掲載している。「D」マークを 21 か所示し、デジタルコンテンツを利用して学習できるようにしている。 ○ 各内容の初めに、「技術の見方・考え方」「発見！技術の最適化」として、身近な製品の具体例を示している。各第1章の最後に、「チェック 技術の見方・考え方」を掲載し、見方・考え方について、まとめられるようにしている。 ○ ガイダンス 12 頁，木材と加工 66 頁，生物育成 46 頁，エネルギー変換 56 頁，情報 62 頁である。 ○ 「他教科」「小学校」等のマークを活用し，教科，学年，単元概要とのかかわりを示している。 ○ 「活動」「調べてみよう」等のマークを用いて，84 個の言語活動を取り入れた学習を示している。
<p>技術・家庭 家庭分野</p>	<p>東京書籍</p>	<p>新しい技術・ 家庭 家庭分野 自立と共生を 目指して</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着のために、「D」マークを 44 か所示し，コンテンツを利用して動画等で学習内容を確認することができるようにしている。 ○ ガイダンスでは，生活の営みに係る見方・考え方をマークやイラストで解説している。各編の導入では，マークやキーワードを示し，キャラクターの吹き出しで，見方・考え方に気づくよう示している。 ○ ガイダンス 14 頁，家族 52 頁，衣食住 152 頁，消費 24 頁，選択事項 6 頁である。配列は，食・衣・住・消費・家族・生活の課題と実践の順である。 ○ 「リンク」「他教科」「小学校」「教科関連を示すDマーク」の4つのマークを用いて，各教科等と関連させて学習できるようにしている。 ○ 生活をよりよくするための方法を考えたり，説明したりする学習活動例を「活動」「話し合ってみよう」「考えてみよう」等，5種のマークで103個を示している。

英語	光村図書出版	Here We Go! ENGLISH COURSE	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文、文構造及び文法事項を「Active Grammar」として、各学年2～9項目に整理し、扱われている文法事項等を本文から探し出す「Grammar Hunt」を設定している。 ○ 日常生活の場面の言語活動として、「Daily Life」を設定している。日常生活に直結した場面の英語を使って、Listening, Reading, Speaking, Writing の活動を設定している。 ○ 第1学年で小学校外国語科との接続を図るために、巻頭に「Let's Be Friends!」を設定し、小学校で学習した英語の基本表現を取り上げている。帯教材「Sounds and Letters」では、小学校で音声中心に学習してきた生徒が、音と文字の関係を確かめながら、文字を読む力を付けられるようにしている。また、巻末の「Word List」や「基本文のまとめ」では、小学校の既習事項であることが分かるようにマークを付けている。 ○ 「付録」として「英語の学び方ガイド」「Your Coach」等を掲載し、学び方のコツをまとめている。また、「Story Retelling」では、絵を使い、教科書のストーリーを自分の言葉で説明する活動を設定している。 ○ 第3学年 You Can Do It!「学校に必要なものを考えて意見を伝えよう」では、Reading で2人の学校生活に必要なものに関する提案を読み、Thinking で2つの提案のどちらかを議題として選び、賛成か反対の自分の意見をまとめ、Speaking で自分の意見を伝え合う活動を設定している。
特別の教科 道徳	東京書籍	新訂 新しい 道徳	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年で、巻頭折り込みに、「道徳の授業はこんな時間に」として、ショートストーリーを基に漫画等で学習の流れを示し、自分の考えや振り返りを書く欄を設定している。 ○ 体験的な学習を取り入れた教材は、目次及び該当ページに「ACTION アクション!」のマークを付けている。該当ページに、演技の手順を示し、役割演技等を設定している。 ○ いじめ問題を扱った教材には、3つの教材で構成された「いじめ問題対応ユニット」を設定している。第3学年では、「C-11 公正・公平、社会正義」の内容項目の教材として、「無実の罪」を選定している。 ○ 全学年で、巻頭の折り込みページの扉に、「詩」を掲載している。巻末には、切り取り式のホワイトボード用紙、心情円を設定している。 ○ 全学年で、巻末に、「自分の学びをふり返ろう」として、学期ごとに、心に残った教材や道徳科の授業で学んでよかったこと等を記録する欄を設定している。